

研修会報告

令和 6 年 6 月 25 日

文 責：小泉照樹

研修会テーマ「令和 5 年度宮臨技精度管理調査 病理部門フォローアップ研修会
～アミロイド染色～」

開催日時 令和 6 年 6 月 22 日（土）13：00 ～16：00

会 場 Zoom ウェビナーによる Web 研修会

司 会 佐藤正樹

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 71 名 入会申請中会員 0 名 非会員 2 名 賛助会員 0 名 学生 0 名
合計 73 名

講演 1 「令和 5 年度宮臨技精度管理調査 病理部門調査報告・アンケート報告」

みやぎ県南中核病院 病理診断室 千崎 久美子 技師

講演 2 「令和 5 年度宮臨技精度管理調査 病理部門検討報告」

東北大学大学院 医学系研究科 病理診断学分野 土田 吉朗 技師

講演 3 「アミロイド染色 ～保管場所の違いによる染色性への影響～」

武藤化学株式会社 本保 太郎 先生

講演 4 「令和 5 年度宮臨技精度管理調査 病理部門総評」

「当院でのアミロイドーシス病理診断の実際について」

みやぎ県南中核病院 病理診断科 櫻田 潤子 先生

内容

本研修会は昨年度に引き続き Zoom ウェビナーによる Web での開催となった。

講演 1 では千崎久美子技師より病理部門の精度管理調査報告と各施設における特殊染色や免疫組織化学染色の実施状況に関するアンケート報告を行った。精度管理項目であるアミロイド染色では参加全施設で総合評価 B 以上という良好な結果であった。講演内では染色の種類ごとに染色液の組成や染色プロトコルなどを詳細に解析し染色態度の報告や、前回（平成 19 年）行われたアミロイド染色との比較についても報告された。アンケート報告では各施設の染色実施状況を把握する目的で数年ごとに調査しており、この結果を基に今後の精度管理調査項目を決定していく。質疑応答では評価基準に関する質問（意見）が挙げられた。

講演 2 では土田吉朗技師より精度管理調査の解析を行う中で挙げられた課題解決を目的に、アミロイド染色における染色時間や温度などの染色プロトコルや染色液中の組成や添加物を変更した各種条件における染色態度への影響についての詳細な検討報告が行われた。質疑応答では試薬メーカーである武藤化学株式会社へ染色液に関する質問が挙げられた。

講演 3 では武藤化学株式会社の本保太郎先生より令和 5 年度の精度管理調査項目であるアミロイド染色を中心に、試薬の保管場所や条件の違いによる染色態度への影響についての詳細な検討報告が行われた。

講演 4 では令和 5 年度病理部門精度管理監修医を務めた櫻田潤子先生より精度管理調査の総評と自施設でのアミロイドーシス病理診断の実施状況に関して講演いただいた。アミロイドーシス診断時のコンサルテーションシステムの活用やアミロイド染色である DFS 染色の好酸球検索への活用、各種沈着物に対する染色法など多岐にわたる内容であった。

Web 開催ということもあり、県内のみならず県外からも多数の参加があった。Web 開催でのメリットは多いものの、フォローアップ研修会の主な対象である県内施設からの参加者の増員や現地開催なども視野に今後の研修会を企画していきたいと考える。

今後も宮城県臨床検査技師会員のためにどのような情報が必要であるか検討を重ね、精度管理調査やアンケート調査を行い、これらを通じて得られた結果・考察をもとに研修会を開催し、勉強する場を提供したい。